

令和元年度授業改善推進プラン（調査結果分析シート）

西東京市立谷戸第二小学校

●全国学力学習状況調査（小学校第6学年・中学校第3学年）

	課題が見られた問題の概要	正答率	調査結果を踏まえた成果	調査結果を踏まえた課題
国語	文と文のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書く	47.30%	平均正答率は、都平均の値とほぼ同じである。既習の漢字を文の中で正しく使ったり、文章の前後の内容を考えながら適切な文章を入れたりする力は身に付いている。	話すこと・聞くことの領域において、目的に応じて必要な事柄を獲得する力に課題がある。また、ことわざを正しく使う力にも課題があり、日頃から伝統的な言語文化に親しむ必要がある。
	目的に応じて、質問を工夫する	62.60%		
	ことわざの意味を理解して、自分の表現に用いる	69.20%		
算数・数学	図形の性質や構成要素に着目し、ほかの図形を構成することができる	56%	全体概況としては、都平均の値となった。数と計算の領域は高い値を示していることから、日頃の計算技能や習熟練習の積み重ねの成果が表れている。グラフの読み取る問の正答率も高い。	都平均より著しく低い値を示す問題はないが、図形領域に課題がある。特に、構成要素に着目し、イメージを再構成して表現する力や、条件を整理して根拠をもって作りあげる力に課題がある。
	示された図形の面積の求め方を解釈し、その求め方の説明を記述できる	46.2%		
	示された計算の仕方を解釈し、減法の場合を基に、除法に関して成り立つ性質を記述できる	35.2%		
理科				

●児童・生徒の学力向上を図るための調査（小学校第5学年・中学校第2学年）

	課題が見られた問題の概要	正答率	調査結果を踏まえた成果	調査結果を踏まえた課題
国語	漢字の書き取り	43.3	・話し合いの一部を読み、その内容を捉えたり、話し合いの進め方の工夫に気が付いたりする力が身に付いている。日頃からの話し合いを大切にする学習経験の成果と思われる。	・主語と述語や、修飾語の関係を的確に捉える力を定着させるために、日頃より文章の読み取りの際に考えるなど、理解を深めさせたい。 ・手紙に書く内容として相応しいものを選ぶことはできているので、型の指導をする必要がある。
	手紙の後付けの書き方	37.5		
	修飾語	46.2		
社会	西東京市の位置	32.7	地図の情報を手がかりに土地の高低を読み取る問題など、地図資料から情報を読み取る問題については正答率が高く、地図資料の読み取りは定着が見られる。	ごみと資源のゆくえと110番にしくみなど物事の流れを示した資料から情報を読み取り、正しい文章を選ぶ問題では、正答率が低く、物事の流れの資料の読み取りに課題がある。
	ごみと資源のゆくえ	40.4		
	110番のしくみ	51		
算数・数学	対象の角度を測る	31.6	・比例関係を読み取って考える問題の正答率は高い。2量の関係を明らかにし、数直線を手がかりに導き出すことが定着してきていると思われる。	・条件不足の問題や複数の条件から必要な数量を読み取って関係付けたり、整理して考えていたりする問題に課題がある。
	小数のわり算（筆算処理）	51.9		
	図形の構成要素から特徴を読み取る	33.7		
理科	電流を通す物質に関する問題	27.9	・実験用具の使い方についての問い（日向と日影で温度計を扱う実験、物の重さの実験で計量計に物を乗せる実験）は、よく理解し正答率が高いため、学習で行った実験により、実際に操作した体験が知識の定着につながっていると考える。	・表やグラフから読み取れる複数の実験結果を比較したり、考察したりする問題の正答率が低い。特に、電気の流れを実際に目で見ることができない電流を通すものを複数選択する問題、直列つなぎを複数選択する問題の正答率が低い。
	回路のつなぎ方に関する問題	16.3		
	観察・実験の約束に関する問題	31.7		
外国語 ※中学校のみ				